

## 凡 例

### 1. 校訂テキストについて

・本テキストは、大谷大学図書館所蔵の写本 *gtsang nag pa brtson 'grus seng+ge* 作 *tshad ma rnam par nges pa'i Ti ka legs bshad bsdu pa* (Otani No. 13971) の校訂テキストである。本写本は『知識論決撰 広註善釈要集』大谷大学所蔵西藏蔵外文献叢書, 2. 京都: 臨川書店, 1989. として影印版が刊行されているが、影印であるため色線の入っている部分などは判読できず、また縮小されているために不鮮明な箇所もあるので、再度カラーで撮影したものを元に電子化した。

・本校訂テキストは、Thub bstan dga' ba氏によって準備された資料をもとに、崔境眞氏が整理して作成したものである。

・本写本には、現代の正字法に合わない綴りが多々みられるが、それら古い綴りに関しては、写本通りの原形と新綴りとを文中に併記した。

ex. [དམིགས་;དམིགས']

・コンテキストを考察した上で、誤写あるいは誤字だと推定される個所に関しては、単語の元の形とガワ氏の読みとを併記し、(G) と注記した。

ex. [དང་;རང'](G)

・単語あるいは文章が無意味に重複されている場合もあったが、それらに関しては削除せずに重複されているままに残した。

### 2. 科文について

・原文中に与えられている科文を見出しとして用い、テキスト中に「緑字」で挿入した。

・科文の番号は、東洋文庫[1996]STUDIA TIBETICA no.33を基準に作成した。

・原文中の上位の科文で触れられていなくても、下位の節が分かれる場合がある。その科文については、「\*」印の後、アルファベット小文字で番号を振った。

ex. \*a1,...

・原文中の上位の科文に挙げられた言葉と、後に実際に当該個所で改めて言及される科文の言葉が異なっている場合、それらを「=」印で繋いで併記した。

ex. D2 ཡུལ། [=] དམིགས་པའི་ཡུལ།

### 3. Pramāṇaviniścayaサンスクリット原典との対応について

・ツァンナクパは、Pramāṇaviniścaya全文に対して逐語訳しているわけではなく、原典を省略しながら挙げて当該個所を注釈している。本エディションでは、サンスクリット原文に対応すると判断される言葉は「青字」で記した。

・Pramāṇaviniścayaのサンスクリット本は以下のエディションを使った。

Ernst Steinkellner ed. Dharmakīrti's Pramāṇaviniścaya : Chapters 1 and 2. (Sanskrit Texts from the Tibetan Autonomous Region, 2). Beijing/Vienna: China Tibetology Publishing House and Vienna, Austrian Academy of Sciences Press, 2007.

たとえば、

དའི་ཡུལ་གསལ་བར་བྱ་[PVin 1,5: ..tannītir uddyotyate//]

となっているのは、上記のE. Steinkellnerエディションの1ページ、5行目の “..tannītir uddyotyate//” に対応することを示している。

・ ツァンナクパが引用するPramāṇaviniścayaのテキストは、必ずしも、現存大蔵経所収のrNgog Blo ldan shes rabによるチベット語訳と一致しない。ただし、訳文に相違はあってもサンスクリット原文と照らし合わせて、対応する箇所であると判断できることが多々ある。その場合は、サンスクリット原文を明記し、その次にデルゲ版大蔵経所収の訳文（D.4211）のfolio番号、行番号、訳語を併記した。

ex. རྣམ་པ་ནི་དུ་མར་མཐོང་གྲེ། [PVin 36,13: anekākārās.. ; PVinD165a2: རྣམ་པ་ནི་དུ་མར་རྣམ་པར་རིག་གྲེ།] ཅེས་པ་ལ།

・ Pramāṇaviniścayaのサンスクリットテキストに遡れない場合は「[?]」と記した。

#### 4. Pramāṇaviniścaya以外からの引用

・ ツァンナクパはしばしばPramāṇavārttikaを引用する。また、稀にPramāṇasamuccayaに言及する場合もある。その際、それらの書名を示す言葉は、ストロベリ色で記した。

ex. རྣམ་འགྲེལ་དུ་བཀོད་[ཏེ་དེ།]

・ 可能な限り原典の対応個所を示したが、遡ることができなかった場合には「[?]」と記した。

#### 5. 検索性テキストファイル

・ テキストの修正や注記などの[ ]から修正後のテキストのみを取りだし、フォーリオ番号などを後続直近のshadの後に移動したテキストファイルを検索性に作成した。文字コードはUTF-8で保存してある。